

「しんぶん赤旗」08/12/05 首都圏のページから転載

つくばエクスプレス 沿線開発見直し 千葉県議会 みわ議員追及

日本共産党のみわ由美千葉県議は三日の県議会一般質問で、行き詰まっている県の「つくばエクスプレス沿線」区画整理事業の見直し計画のずさんさを指摘し、抜本的な見直しを求めました。

県は同事業の資金計画で、支出の大半を占める建物等の移転費用を少なく見積もり、収入の柱となる保留地の販売価格を周辺の地域の公示価格や利便性のよい隣接地区より高く設定しています。この間、分譲地の販売は進まず、賃貸募集も応募がありません。

地元の流山市は二〇二〇年の計画人口の推計値を三万八千人から二万人へと大幅に下方修正していますが、県は将来六万二千人の増加を見込んだままで変更していません。

みわ議員は計画の行き詰まりに対し「新たな税金投入にもなりかねない」と批判。人口想定についても「あまりにも現実離れしている」とただしました。堂本暁子知事は「市と県の人口計画にズレがある。景気が急に悪くなったので売れない。県の計画の修正が必要かどうかは今後検討したい」と答えました。

知事は、毎年二千二百億円削減され続けている国の社会保障予算について「地域の医療、福祉は冬の時代を迎えている。削減すべきでない」と主張していますが、その一方で「偏在性の少ない消費税はイエスだ」として、消費税増税を容認しました。